

地域医療支援病院業務報告書

令和 7年 9月 19日

愛知県知事殿

開設者 住 所 愛知県名古屋市三条1-1-10

氏 名 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院

院長 後藤 百万

下記のとおり、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院					
所 在 地	愛知県名古屋市南区三条一丁目1番10号					
診 療 科 名	内科、血液・腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、※総合診療科、精神科(※精神心療科)、小児科、※小児循環器科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓内科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科(※耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、放射線科、救急科、麻酔科、病理診断科、※緩和支持治療科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、透析外科、消化器外科(※印は院内標榜科)					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					580	580

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要				
集 中 治 療 室	(主な設備) 人工呼吸器、各種生体情報モニター、補助循環装置 除細動機、輸液ポンプ他 病床数 8床				
化 学 檢 查 室	(主な設備) 汎用性化学、免疫分析装置				
細 菌 檢 查 室	(主な設備) 細菌同定感受性装置				
病 理 檢 查 室	(主な設備) 迅速パラフィン包埋装置				
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台				
研 究 室	(主な設備) 超低温フリーザー				
講 義 室	室数 5	収容定員 450 人			
図 書 室	室数 1	蔵書数 2566 冊程度			
救 急 用 又 は 患 者 搬 送 用 自 動 車	(主な設備) 救急車(一般的な救急車と同様の設備) 保有台数 2 台				
医 薬 品 情 報 管 理 室	〔専用室の場合〕 床面積 53 m ² 〔共用室の場合〕 室と共に				

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2024 年 4月 1日 ~ 2025 年 3月 31日

2 紹介率 68.2%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B × 100)
11,996人	17,566人	68.2%

3 逆紹介率 100.0%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B × 100)
17,566人	17,566人	100.0%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

共同利用医療機関	1,807 施設
申請者と直接関係のない医療機関数	1,807 施設
共同利用に係る病床の病床ごとの利用率	0.9% 別紙参照

2 共同利用の範囲等

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

共同利用に関する規程	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	事務員

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
別紙参照				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受け入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の様子	勤務時間	備考
	別紙参照		常勤 非常勤	専従 非専従	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称（救命救急センター） 42床
専用病床	名称（ ） 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	1437.4m ²	(主な設備) 心電図モニター、心電計、除細動器、超音波診断装置、電気メス、低体温維持装置、人工呼吸器、気管支鏡	可
救急外来	498m ²	(主な設備) 心電図モニター、心電計、除細動器、超音波診断装置、電気メス、自動心臓マッサージ装置、補助循環装置、麻酔器、輸血・輸液加温装置、気管支鏡	可
放射線部	1437.4m ²	(主な設備) CT室3部屋、MRI室3室 血管撮影室1室、心臓カテール室2室	可
検査部	1029.2m ²	(主な設備) 心電図、汎用性化学・免疫分析装置、自動輸血検査装置	可
検査部	1029.2m ²	(主な設備) 心電図、汎用性化学・免疫分析装置、自動輸血検査装置	可
手術室	977m ²	(主な設備) 心電図モニター、除細動器、超音波診断装置、電気メス、自己血回収装置、麻酔器、気管支鏡、	可
ICU	245.4m ²	(主な設備) 心電図モニター、除細動器、超音波診断装置、電気メス、IABP、体外式ペースメーカー、気管支鏡	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	6, 211人 (2, 950人)
上記以外の救急患者の延べ数	9, 353人 (1, 395人)
合計	15, 564人 (4, 345人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

52 回

6 備考

救急病院を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づく救急病院の認定を受けている。

※特定の診療科において、重症救急患者の受け入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

別紙4

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

別紙参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	35 回
(2) (1) の合計研修者数	1,137 人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるもの記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 有 無
(2) 研修委員会の有無 有 無
(3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨 床 経 驚 数	備 考
別紙参照				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
別紙参照	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医 師	副院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等		事 務	医事課長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	電子カルテ 病院関係 ・総務企画課 診療関係 ・看護部 ・薬剤部 ・医療情報部	日付順 ・患者ID順
共同利用の実績 救急医療の提供の実績	地域医療連携・相談室 医療情報部	エクセル一覧表 日付順 患者ID 利用項目、患者ID順
病院の管理及び運営に関する諸記録 地域の医療従事者の資質の向上を図るために研修の実績 閲覧の実績	地域医療連携・相談室 医療情報部	エクセル一覧表 日付順・研修名、参加数 電子カルテ内ログ参照
紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携・相談室	エクセル一覧表 日付順 患者ID・ 氏名 紹介病院名等

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理办法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲 覧 責 任 者	氏 名		職 種		役 職 等
			医 師		副院長
閲 覧 担 当 者	氏 名		職 種		役 職 等
			事 務		医事課長
閲 覧 場 所	<p>【開放型病床】閲覧室 開放型病床（救命救急センター・18病棟・34病棟・35病棟） 【ID-Link】開業医各医療機関</p>				
総 閲 覧 件 数	医 師	歯科医師	地方公共 團 体	その 他	合 計
	6 4 8 件	0 件	0 件	0 件	6 4 8 件
閲 覧 手 続 の 概 要	<p>【開放型病床】 登録医に個々の電子カルテ閲覧用の ID・パスワードを作成し 提示 個人情報保護に関する誓約書を取得 患者訪問時、閲覧室や訪問病棟の電子カルテを必要時閲覧可能 誰が、何時、何を閲覧したか総務企画課で把握 登録医の費用負担は無</p> <p>【ID-Link】 申請書提出後、パスワードを配布 患者の同意書を提示・確認した後、設定された端末から 診療録・画像・検査結果の閲覧が可能 登録医の費用負担は無</p>				

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数

4 回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

第1回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会議事録

2024年5月17日（金） 出席者16名/委員27名

【議題】 I 新任委員紹介

II 地域医療連携に関するデータ報告

- 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移
- 2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）

III 「形成外科診療 Up to Date 熱傷、熱傷後瘢痕

リンパ浮腫の手術治療 乳房再建 眼瞼下垂」

第2回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会議事録

2024年8月16日（金） 出席者21名/委員27名

【議題】 I 新任委員紹介

II 地域医療連携に関するデータ報告

- 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移
- 2) 救急車受入状況
- 3) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）

III 「不整脈センター・不整脈専門外来開設」

第3回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会議事録

2024年11月15日（金） 出席者19名/委員27名

【議題】 I 地域医療連携に関するデータ報告

- 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移
- 2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）

II 「中京病院における手外科・肘関節外科領域の最近の取り組みについて」

第4回 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会議事録

2025年2月21日（金） 出席者19名/委員27名

I 地域医療連携に関するデータ報告

- 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移
- 2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）

II 「新東館の概要」

III 「令和6年救急統計」

* 議事録別紙参照

患者相談の実績

患者相談を行った場所	地域医療連携・相談室、入院前説明室 そのほか（病棟・外来・会議室）		
患者相談担当者	氏名	職種	役職等
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	
		看護師	看護師長
		看護師	看護師長
		看護師	
		介護福祉士	
		事務	係長
		事務	

患 者 相 談 件 数	2 7 , 8 4 6 件
患者相談の概要 別紙参照	

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

1. 在宅への退院（施設含む）の際に、当院医師および看護師・MSW、訪問診療医、訪問看護師、ケアマネジャー、と情報の共有・連携
 - ・退院前カンファレンス件数： 168件
 - ・介護支援等連携指導：150件
 - ・退院時共同指導：156件
 - ・退院時共同指導（3者以上）：54件
2. 退院後に安心して療養生活が送れるよう療養環境の整備、あるいは訪問看護師との情報共有などのために退院前訪問を実施
 - ・退院前訪問：16件
3. 退院後に在宅療養が継続できているか、退院支援看護師・MSW・病棟看護師で自宅訪問を実施
 - ・退院後訪問：17件

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

訪問看護指示書発行件数：991件（207施設、訪問看護ステーションからの報告書：3002件）

居宅サービス計画に関する主治医連絡票：923件

介護支援・サービス情報提供連絡表：12件

情報連絡票（訪問看護ステーションへ）：359件

福祉用具貸与の例外給付：31件

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

医療連携を推進するために、院長・診療部長と共に開業医訪問実施

インターネット予約システムを推進又は接続（再設定含む）・他医療機関の見学対応を実施

- ・中京病院病診連携症例検討会をオンライン形式で開催
17施設、院外16名 院内22名、計36名の参加
第1部 がん早期発見研修「意外と身近な血液疾患」、
第2部 症例検討会「血液がん患者の意思決定支援」～変化に「備える」支援のタイミング～
病院：医師・看護師・退院調整～在宅医療：在宅医・訪問看護
- ・小学生を対象としたがん体験ツアーや糖尿病セミナーの市民向けに開催している
- ・健康講座やACP普及を地域の施設（他医療施設）や商業施設にて地域普及活動している
- ・各診療科の病診連携セミナー・パスなどの地域多職種カンファレンスを開催し情報共有している

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	地域連携部		
	氏名	職種	役職等
担当者		医師	地域連携室室長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評価を行った機関名	公益財団法人 日本医療機能評価機構 特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構
評価を受けた時期	公益財団法人 日本医療機能評価機構 認定期間 1999年6月21日～2014年6月20日 認定期間 2014年6月21日～2019年6月20日 認定期間 2019年6月21日～2024年6月20日 認定期間 2024年6月21日～2029年6月20日
	特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構 認定期間 2023年1月1日～2024年12月31日 認定期間 2025年1月1日～2026年12月31日
	公益財団法人 日本適合性認定協会 初回認定 2020年8月20日～ 認定期間 2024年9月1日～2028年8月31日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

退院支援件数：13,570件、入院前支援件数：5,598件

転帰：自宅11,339件、施設入所492件、転院1,335件(回復期リハ39%、地域包括ケア34.3%、一般12.4%、療養型9.1%、精神科3.7%、緩和ケア1.5%、その他0.1%)

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

別紙参照

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

大腿骨頸部骨折・脳卒中の地域連携カンファレンス開催し、回復期・維持期を含めた研修会を開催した。(3回/年)

がんパス（5大がん・前立腺がん）の運用を継続。

がんパスの説明及び広報、新規開拓14施設 電話などのサポートを316件行った。

がん診療拠点病院の地域連携パス部会の取りまとめ役として運用に貢献した。

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

登録医への情報発信（郵送） 中京病院ニュース：年4回発刊 登録医への郵送

ホームページ、フェイスブック、インスタグラム 院内掲示、電光掲示板による広報、

各種情報印刷物の配布、医療連携のご案内の冊子の発行

内容等の概要

ホームページ：病院概要、診療担当、各診療科、部門等の紹介、受診方法等

中京病院ニュース：診療科や部門におけるトピックスの紹介、病気についての予防ポイント、地域医療連携・相談室便り、中京病院の主張、各科診療担当表等

フェイスブック・インスタグラム：直近の院内でのトピックス紹介、

医療連携のご案内：トピックス、各診療科の紹介、地域医療連携の紹介、アクセス等

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。